

## 例えどんなにサッカーは進歩しても本質は変わらない

すっかりご無沙汰しましたが、10月末にJビレッジへ行ってきました。5ヶ月ぶりに見たJFAアカデミーU-15の選手は、一つひとつのプレーの精度が上がり、ちょっとしたミスにも妥協しない姿勢と例えミスが出ても左右されずにプレーを続けていくたくましさがありました。前は、ちょっとしたことで精神的に不安定になってプレーが荒れてしまう選手がいましたが、5ヶ月ぶりに見た彼らは、ずいぶん成長したように見えました。特に中学生の時期は、サッカーの成長に人間的な成長が欠かせないので、JFAアカデミーのスタッフの苦勞が感じられました。

釧路の選手はプレーの質の差はもちろんですが、たくましさ足りないように思います。その日の調子が悪くてプレーがうまくいかなかったり、レフェリーの笛が自分の規準と違ってファールをとられたり、とってもらえなかったり、ちょっとしたことでプレーが続けなかったり、大袈裟にアピールしたりしてしまいます。セルフコントロールが上手にできるようにならないとサッカーが伸びなくなると思います。言葉で「フェアプレー」や「ハードワーク」を知っているのかもしれませんが、現実には「フェアプレー」や「ハードワーク」が身に付いていません。U-14年代くらいから大人のサッカーに近づくので少しでも状況を理解できずにプレーしたり、サボったりすると攻撃も守備も上手いきません。最近はトレセンに来る選手も少しずつたくましさを身につけてきているようですが、もっと下の年代から厳しい環境の中でサッカーをしないとよい選手は育たないと思います。未来のサッカー選手を育てる厳しい目を持って、コーチも先生も保護者もすべての人がかわって欲しいと思います。(JFAアカデミー福島は、高円宮杯U-15の全国大会で残念ながら予選リーグで敗退してしまいました。Jクラブ以外にも地方の町クラブも本当に頑張っているようです。中3の伸びる時期に闘える場所があるのは羨ましい限りです。)

釧路では、U-15TCが年間を通して活動しています。秋は、高校新人リーグに入って1つ上のカテゴリーで闘っていますが、選手のモチベーションも高く、中3にとってはよい経験の場になっています。今年度は高校新人大会があったおかげで、室蘭大谷高校ともゲームをすることができました。選手にとっては自信を持てる内容だったと思います。釧路においてもよい選手が育つような環境が整備されていくようにサッカーに携わる皆さんに今後とも協力をお願いします。



「明日のJリーガー達」

～ U-15/U-18 GKプロジェクト



「鬼軍曹と...」

～ JFAアカデミー福島U-15